

2024年度

履修科目案内

神戸YMCA学院専門学校

ホテル学科

カリキュラムポリシー

ホテル学科は、神戸YMCA国際ホテル学校を前身として、日本ホテル協会兵庫県支部の要請のもとに1964年に開設されました。その後1976年に従来の1年制から2年制(本科)及び1年制(専修科)併設という新しい学制に変更しました。

そして1978年3月神戸YMCA学院専門学校ホテル専門課程とする専修学校となり、1988年4月より神戸YMCA学院専門学校商業実務専門課程ホテル学科、ホテル学専修科となりました。

ホテル学校は、キリスト教精神に人間教育の基礎をおき、経済の時代から文化の時代へと移行しようとする現代の社会状況にあって、その新しいホテル産業の指導者と、又このために日常生活の中でこの使命を実践する人々を養成するために設立されたものです。その背景にはYMCAの世界120の国と地域に及ぶ世界最大の青少年団体の組織があり、世界のあらゆる状況の理解と認識を深めることができ、またこの世界にちらされた一つ一つのYMCAが愛と奉仕による一致をよびかけている事実は、日々の小さな行為の中から大きな幻を生むことを約束しているといえます。

従って、この学校は学生が自ら求め自ら応える姿勢と、この決意に燃えた同志としての仲間や先輩とから成り立っています。

神戸YMCAの教育方針

・人間性

キリスト教の愛と奉仕の精神を基礎とする「サービスのできる人……仕える人」を基本的な人間としてのホテルスタッフシップの育成

・専門性

正しい職業観に基づく職業教育という実学的観点から、経営学に基づいた実践的専門知識、技術の習得

・国際性

語学教育を中心とする国際教育に基づいて、国際的な場でリーダーシップを発揮できる者の育成

<サービスのできるスペシャリストを>

ホテルを中心とするレジャー・観光産業は、ホスピタリティ・インダストリィ（ホスピタリティとは“人をもてなす”の意）と呼ばれています。これは、次代を担う第三次産業として、ホテル・レストラン・旅行・レクリエーションと広範囲に及び、将来の国民生活や経済において重要な役割を果たします。この産業に進もうとされるみなさんは、幅広い知識と技術の専門性が要求されるとともに、“人をもてなす”上での人間性も求められています。すなわち、サービスのできるスペシャリストの養成を目的とした教科が重要となり、次のような編成がなされています。

2年間の教育課程では、1年次には一般教養、語学の基礎力、技術を、2年次にはそれらの基礎力と実習で得た実践的な知識をもとに経営管理を主体としたマネジメント理論と、専門知識を学びます。

一般教養科目

立派なホテルマンになる前に、まずは立派な社会人、大人になる必要があります。一般科目では一般社会に必要な常識や時事問題について、また人間関係の作り方などを総合的に学びます。

専門科目

業界で必要とされる知識と技能を系統立てて学びます。また知識、技能のみならずサービススタッフとして必要なマインドについても主体的に学びます。

語学教育

語学教育を国際教育の一環としてとらえ、国際社会の舞台であるホテルとその他の関連事業で働くために、生きた英語を学びます。

目次

I. 教科概要

【一般教養科目】 P.4

一般教養
クラスワーク
接遇マナー
日本語表現法
OA実務
YMCAと宗教
ボケーショナル・オリエンテーション
オリエンテーションプログラム
福祉実習・課外活動
特別プログラム

【専門科目】

< 実務 > P.7

ホテルマネジメント
料飲サービス基礎
料飲サービス理論と実技
レストラン&料飲実務
食品公衆衛生
ホテル宿泊概論
ビバレッジ実務&ワインサービス
サービス演習
ホスピタリティ論
旅行業総論
旅行業実務
旅行業 比較演習
選択 国内旅行業務取扱管理者受験対策
ブライダル総論
選択 ブライダルセールス
イベントプランニング

< 語学 > P.9

Basic English
Communication (火)
Communication (木) 選択授業
English for service industry

II. 実習・研修

P.10

I. 教科概要

【一般教養科目】

科目：一般教養Ⅰ
講師：松本 梨香子
概要：・2025年2月からの就職活動に向けた準備
・履歴書作成、自己分析、就職活動対策
テキスト：「勝つための就職ガイド SUCCESS」

科目：一般教養Ⅱ
講師：上井 昌好
概要：社会人としてのマナーやコミュニケーション能力、ビジネス全般に関する題材や地域活性化に関する事例探求をとおして、一般教養を身につける。

【学習目標】

- ① 魅力ある社会人としてのマナー、コミュニケーション・スキルを身につける。
- ② ビジネス及び時事を題材とした探求学習をとおして、社会常識を学ぶ。
- ③ 観光・地域活性化に関する事例探求をとおして、思考力・判断力・表現力を高める。

科目：クラスワークⅠ・Ⅱ
講師：クラス担任
概要：学生への各種連絡のほか、クラスづくりのためのアクティビティなどを通して、社会で生きていくために必要な知識の習得と、それを自発的に学ぼうとする意識を育て、社会で必要とされる論理的なコミュニケーション能力や精神的なバランス感覚、コミュニケーショントレーニング（対人関係力の形成）にも配慮する。

科目：接遇マナーⅠ
講師：牧原 愛
概要：社会人としての一般常識を理解し、夏期実習に必要な基本的な接遇動作を身に付ける。

- ・社会の中の自分を理解する
- ・マナーの本質を理解する
- ・好印象を与える基本動作を身に付ける（意識してできるようになる）
- ・社会人として働く意識を持つ

科目：接遇マナーⅡ
講師：牧原 愛
概要：接遇マナーが身に付いた自然な動作を目指す。自信をもって面接試験に臨むことを目指す。

- ・好印象を与える動作を身に付ける（意識せずともできている）
- ・自分の強み、弱みを理解する
- ・感じの良い話し方と自己表現力を身に付ける（意識して自己コントロールができる）
- ・実践練習により、接遇検定や就職試験の面接に自信をつける

科目：日本語表現法

講師：牧原 愛

概要：正しい言葉遣いを理解し、夏期実習での話し方を学ぶ。

- ・言葉遣いの重要性を理解する
- ・敬語表現を身に付ける（意識すれば使い分けができる）
- ・感じの良い話し方を身に付ける（意識しなくてもできる）
- ・傾聴姿勢の大切さを理解する
- ・接遇、ビジネス慣用句を理解する

科目：OA実務Ⅰ

講師：平出 富子

概要：パソコンの基本操作、インターネット・ビジネスメールの基本を習得する。
タイピング技能の強化、就職の際の円滑なパソコン操作を身に付ける。
ビジネス文書における表やグラフィックの利用を可能にする。

科目：OA実務Ⅱ

講師：平出 富子

概要：タイピングのスピードアップと正確性の向上

1年次に習得した基礎知識をもとにWordの応用編として複雑な表の作成とテンプレートの利用。さらにビジネスで便利な差込印刷の方法を身につける。

Excel表計算ソフトの活用スキルを育成数式などを駆使し誰もが使いやすい・見やすい表が自身で一から作成できるスキルを身に付ける。

Excelでの表作成・主な関数の利用・グラフ作成・グラフィックスの利用

科目：YMCAと宗教

講師：山内 慎平

概要：YMCAの活動理念であるキリスト教について、その思想や文化を取り上げる。
また、キリスト教とも関りの深いユダヤ教、イスラム教の思想や文化についても取り上げる。異なる文化や価値観について理解を深め、他者と共によりよく生きる生き方について考えることを目標とする。

科目：ポケーショナル・オリエンテーションⅠ・Ⅱ

講師：松本 梨香子

概要：・就職活動対策（就活状況に合わせた面接対策の実技実施）

- ・面接実技練習と共に、面接官側を体感する
- ・WEB面接・説明会対策の実施

科目：オリエンテーションプログラムⅠ・Ⅱ

講師：担任 他

概要：日常の生活から距離を置き、自然の中で感性を磨く。

- ① 1・2年生の交流を深める・
- ② 他者とのコミュニケーションと協力を体験する。
- ③ ルールを守りながら楽しむ。
- ④ 異なった環境の中で新しい自分を発見する。

科 目：福祉実習・課外活動Ⅰ・Ⅱ
講 師：担任、各施設担当者
概 要：学生自ら企画し、プログラムを実施する。企画の過程で想像力・創造力を発揮し実行する。

科 目：特別プログラムⅠ・Ⅱ
講 師：担任、各施設担当者
概 要：社会人として、また学生として理解しておきたい事項を取り上げる。各種 YMCA プログラムに参加する。

科 目：ホテル学全般（特別プログラムⅠA）
講 師：増田 朋子
概 要：ホテル実習の事前に、働く者としての常識とその心構えを身につけ、人間形成の一助とする。実習現場に入った時のコミュニケーション術なども学び、うまく環境に溶け込み、本来の力が発揮でき、実習を実りあるものにするために、その準備に特化した授業を行う。

【専門科目】

< 実務 >

科 目：ホテルマネジメント
講 師：永原 裕士
概 要：ホテルエとしてのきそ知識や、企業としてのホテルの組織形態などについて学ぶ。

科 目：料飲サービス基礎
講 師：本多 康邦
概 要：ホテル、レストランサービスの座学を主に料理、飲料の魅力・知識・技術を身に付ける。

科 目：料飲サービス理論と実技Ⅰ・Ⅱ
講 師：松岡 大輔
概 要：レストラン実務で必ず役立つ実技を多く入れ、座学講義でもアクティブラーニングを取り入れる。また、自己アピール、プレゼンテーション、魅力的な話し方など就職活動を見据えた授業を行う。

テキスト：「西洋料理料飲接客サービス技法」

科 目：レストラン料飲実務Ⅰ
講 師：檜山 和司
概 要：ⅠA レストランの日常業務である予約業務やメニュー管理、売上分析やリスクマネジメントを学び、ホテルならびに料飲接客で不可欠な国際儀礼の知識習得を目指す。
ⅠB 様々な食文化を理解し、西洋や日本料理の歴史、日本の食環境の現状を認識し、食事作法であるテーブルマナーやパーティーマナーを基礎から学ぶ。

科 目：レストラン料飲実務Ⅱ

講 師：綿谷 佳世子

概 要：マネジメントの基本と、料飲部門における様々な実務に対して、その業務が持つ意味を学ぶ。

マネジメントの基本を理解することにより、入社後に上司の指示や現場における様々な管理業務の意味を正しく理解し、積極的に業務に取り組む姿勢を身に付ける。マネージャーの仕事を理解し、サポートできるスタッフとなり得る基本知識を身に付ける。

科 目：食品公衆衛生

講 師：油谷 礼子

概 要：生育、生産、製造から最終的に人に摂取されるまでのすべての段階において、食品の安全性、健全性、および正常性を確保するために必要なあらゆる手段を選び、感染症の予防や食中毒との違いなどを学ぶ。

科 目：ホテル宿泊概論

講 師：吉野 修

概 要：基本的な宿泊業務の理解と、企業実習に向けた準備を中心とする。

科 目：ビバレッジ実務&ワインサービス

講 師：村本 恭一

概 要：お酒（アルコール）についての知識を深める。魅力を見つける。

種類、製造方法（ワイン、ウイスキー）などを中心に蒸留酒、醸造酒に触れる。

「お酒が飲めないからこそ、できる体験」とお酒の結び付けができるようになる。（香りをかぐ、色を見るなど）

科 目：ホテルサービス演習

講 師：綿谷 佳世子

概 要：サービスの基本として現在のサービス現場においても使われている間違っただ言葉遣いを認識し、様々な場面において正しい言葉遣いができるスタッフとなることを目指す。様々な場面におけるお客様の心理を推察し、状況に応じた適切な対応ができる力を身に付ける。

科 目：ホスピタリティ論

講 師：増田 朋子

概 要：JHMA 認定アソシエイト・ホスピタリティコーディネータの資格取得を目指す。

理論を理解した上で将来的に得た知識を実践し、ホスピタリティ溢れる社会を目指し、就職後の各領域において心からのおもてなし精神を発揮する推進役になることを目標とする。またグループワークなどの様々な実践を通じて生徒自身がホスピタリティを体感することにより日常生活内においても、おもてなしの気持ちを理解、発揮する習慣をつけ、自己の人間力向上も目指す。

テキスト：「ホスピタリティ・コーディネータ教本」

科 目：旅行業総論
講 師：浜瀬 眞知子
概 要：観光業界の分野である、ホテル業界、旅行業界の関連を踏まえて国内旅行、海外旅行に必要な実務基礎知識を専門的に学習していきます。
テキスト：「旅行業務入門」

科 目：旅行業実務
講 師：石田 美保
概 要：ホテル、ツーリズム業界はもちろん、他業種に就職した場合でも「旅行業・観光業を学んだ」という自信が持てるよう幅広い知識の習得を目指す。企業実習にも活かせるよう、身につけた知識で会話を楽しめることを目標に、発表の場を多く設ける。
テキスト：「地球の歩き方 日本 2023-2024年版」

科 目：旅行業比較演習
講 師：浜瀬 眞知子
概 要：1年次で学習した、国内・海外旅行実務を基礎として、各国別に観光地、宿泊施設事情を調べ、レポートを作成する。課題としてレポート作成した宿泊施設を利用して、海外旅行企画を作成する。前期はアジア、アメリカ、オセアニアの観光地、宿泊施設について学習する。また後期は海外地理検定を視野に入れて学習する。
テキスト：「海外旅行地理ベーシック400」

科 目：《選択必修》国内旅行業取扱管理者受験対策
講 師：浜瀬 眞知子
概 要：観光業界はもとより、幅広い分野で必要とされている国家試験である国内旅行業取扱管理者の資格取得を目指して、各分野別に学習する。

科 目：ブライダル総論
講 師：山内 梨沙
概 要：

- ・ブライダルの総論的な知識の習得
- ・講師経験談によるブライダル現場における実情把握
- ・ホテルにおけるブライダル部門の位置づけの確認
- ・ホテル各部門に関わるブライダル顧客の重要性を認識
- ・ブライダルの将来像の考察

テキスト：「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」

科 目：《選択必修》ブライダルセールス
講 師：松本 梨香子
概 要：2025年1月実施ブライダルコーディネーター技能検定3級受験及び合格を目指す

- ・BIA検定テキスト（スタンダード）に基づき講義を行う
- ・実物のブライダルアイテムや映像を多数使用し、体感できる授業にする
- ・後期模擬結婚式の土台となる知識を身に付ける

テキスト：「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」

科 目：イベントプランニング
講 師：松本 梨香子
概 要：・挙式・パーティーを同時並行して企画・実施する。
・チームワークを学ぶこと、達成感を感じることを目的とする。

< 語学 >

科 目：Basic English
講 師：松永 あゆみ・ネイティブ講師
概 要：ホテルで働くために確実に必要な英語を身につける前に、学生によって極端に不足している基礎的英語力を補い、2年次の専門英語に備えるためのクラス。基本的文法の確認を中心とし、上級者には検定対策なども行う。
テキスト：「My Next Grammar」

科 目：English for service industry
講 師：松永 あゆみ・ネイティブ講師
概 要：ホテル学科2年生が対象。
ホテルで実際に働くために必要な英語をマスターすることを目指す。
毎回、テーマ（フロントへのご案内、オーダーを取る、など）にそった表現を覚え、学生と講師1対1の個別チェックを行う。

科 目：Communication（火）
講 師：松永 あゆみ・ネイティブ講師
概 要：ホテル学科1・2年の合同授業
英会話力、コミュニケーションスキルをアップさせるためのクラス。
学年別ではなく、レベル別に分けて授業を行う。
英会話だけでなく、コミュニケーション力のための各種アクティビティ及び英語でのプレゼンテーションを実施する。

科 目：《選択必修》日本語
講 師：長坂 尚子
目 的：留学生対象
・接客に必要な日本語の基礎を学ぶ
・実務的な仕事をこなすための高度な日本語力を身に付ける
・日本語で時事問題に触れる

科 目：《選択必修》日本語
講 師：長坂 尚子
目 的：留学生対象
・接客に必要な日本語の基礎を学ぶ
・実務的な仕事をこなすための高度な日本語力を身に付ける
・日本語で時事問題に触れる

科 目：日本語（N2対策）（選択）
講 師：長坂 尚子
目 的：N2合格対策を行う。授業毎に次週までの課題を配布し、自宅で解いてきたことを前提に解説を行う形をとる。自宅課題は、授業で解説された問題の復習および新課題（各5問程度）。また、単語帳作成を課す。

科目：Communication（木）
《前期 Communication 選択授業》

1. 英語発音クリニック

講師：松永 あゆみ

概要：Phonics の概念の理解と実際の活用を目指す。

英語の曲の歌詞をもとに、聞き取り、発音の特性を理解・練習する。

終了課題として、各自が選んだ英語の曲を暗記して、歌うパフォーマンスの動画を作成する。

2. 中国語

講師：李 維娥

概要：中国語入門を 24 回分の講義を通して、発音の習得と簡単な会話表現を身に付ける。会話に必要な語彙・文法などはテキストに沿って進行し、反復練習をする。学習の理解度や到達度をチェックするために、宿題を出し、中間テストと期末テストを行う。また、講義の楽しさを保つために、中国の文化歴史・流行語などを適度に折り混ぜながら進める。ホテルでよく使われる挨拶用語も適度に補足する。

テキスト：「はじめよう楽々中国語」

3. マナー・プロトコール検定

講師：石井 由美子

概要：暮らしやビジネスにおいて不可欠なマナーや、国際マナーであるプロトコールについて、正確な知識を身につける。履歴書にも書ける「マナー・プロトコール検定 3 級」に合格するレベルに自らを引き上げるために、積極的に学び、「品格あるマナー」を身につけようとする姿勢で授業に挑んでほしい。授業で学んだ章の確認テスト（全 10 回）を、授業の始め・または終了前に行う。授業に集中し、しっかりと復習すれば、合格レベルの知識を積み上げていくことができる。

《後期 Communication 選択授業》

1. 英語発音クリニック（前期参照）

2. 韓国語

講師：崔 英叔

概要：韓国語の文字の読み書きを習得し、基本的な会話ができることを目指す。

韓国語学習を通じて歴史や文化に触れ、日本との違いを理解し、コミュニケーションに活かす。

3. サービス接客検定

講師：石井 由美子

概要：サービス接客検定 3 級、2 級の受験対策を行う。また、接客者として顧客満足の為に必要な心と知識と技術を理解する。

テキスト：「サービス接客検定 2 級公式テキスト」

II. 実習・研修

実習について

1年次の夏には主にリゾートホテルにおいて、また1年次の夏と2年次の冬には関西を中心としたホテル、また京阪神のシティホテルを中心に幅広い企業に合計約5ヶ月間の実習を行う。2年間に合計3回の実習があるが、その全てを完遂しなければ卒業は認められない。また希望者は、担当者と相談の上、原則として1年次の春の実習から海外で実習することも可能である。

限られた2年間の学生生活の中で、将来の自分を磨く、今を大切に考えるならば是非とも海外実習に参加することを勧める。

概要

1. 職業に対する認識を深めつつ自己鍛錬をする。
2. 異文化について実際に体験することにより、それぞれの国の認識を深める。
3. 語学力の向上(英語・中国語)
4. 自己の適性なる職種を発見、研究し就職時における適正なホテル選びをする。
5. 実習を通して人間関係の大切さを学ぶ。
6. YMCA組織の世界的つながりを認識する。
7. 海外旅行の仕組みを体験する。
8. 各セクションの仕事をするにより、ホテル技術の習得を行う。

国内実習先ホテル例

兵庫

ANAクラウンプラザホテル神戸	ホテルオークラ神戸
神戸ポートピアホテル	ORIENTAL HOTEL
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	グランドニッコー淡路
神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ	メープル有馬
ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド	神戸みなと温泉 蓮

大阪

リーガロイヤルホテル	ザ・リッツ・カールトン大阪
セントレジスホテル大阪	インターコンチネンタルホテル大阪
ハイアット・リージェンシー大阪	ザ パークフロント ホテル アット
ホテル阪急インターナショナル	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

リゾート

星野リゾート	軽井沢プリンスホテル
琵琶湖マリオットホテル	都リゾート志摩ベイサイドテラス
志摩観光ホテル	シェラトン沖縄サンマリーナリゾート
アオアヲナルトリゾート	ホテルモントレ沖縄
ホテルアナガ	リゾートトラスト

海外実習先ホテル例

HONG KONG	THE HARBOURVIEW
SINGAPORE	METROPOLITAN YMCA
U. S. A.	ESTES PARK CENTER (YMCA of THE ROCKIES)
	SNOW MOUNTAIN RANCH (YMCA of THE ROCKIES)

